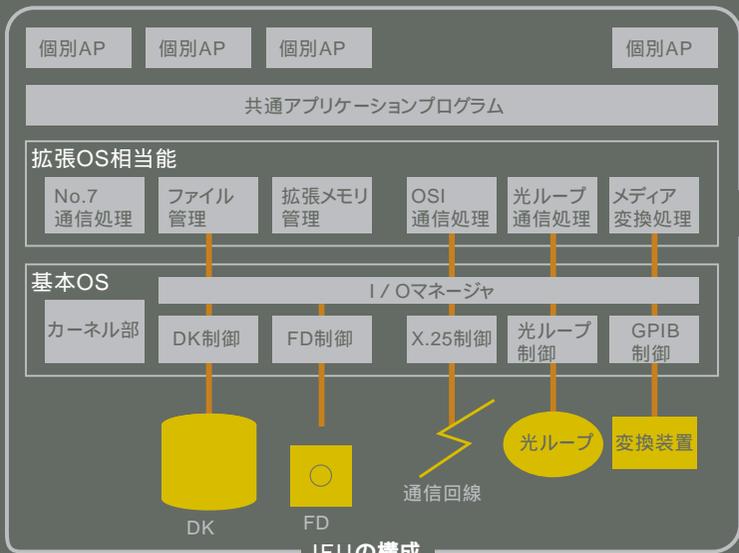
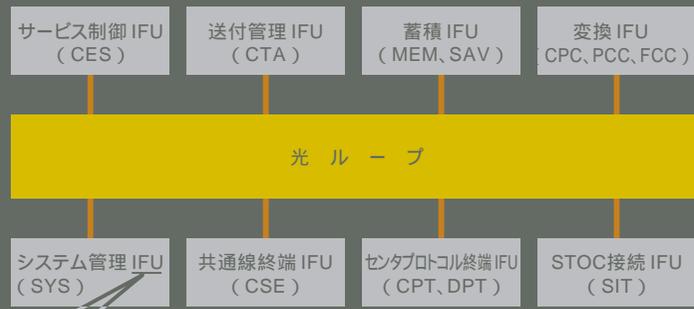


I-STOCの装置構成

System configuration diagram of I-STOC



IFUの構成



各IFUの機能概要

分 類		機能概要
サービス管理 IFU	CES	CSE、CPTなどからの呼情報を基に各IFUの呼制御情報ともち回り順序を設定する。SYSからの通知に基づき削除などのトラヒック制御を行う。
送受信管理 IFU	CTA	数ページにわたる画信号の順序制御や話中時再送の制御を行う。
蓄積管理 IFU	MEM SAV	画信号を蓄積する。呼情報を蓄積する。
変換 IFU	CPC PCC FCC	コード情報をボタン情報に変換する。ボタン情報をコード情報に変換する。符号変換(MH MMR)を行う。
共通線終端 IFU	CSE	No.7共通のプロトコル終端を行い、呼情報を送受する。
センダプロトコル終端 IFU	CPT DPT OPT	パケット網経由OSIセンタとのプロトコル終端を行う。直接接続DCNAセンタとのプロトコル終端を行う。直接接続OSIセンタとのプロトコル終端を行う。
STOC接続 IFU	SIT	STOCのPDCH、CPUとバス接続し、画信号の送受を行う。
システム管理 IFU	SYS	各IFUの状態管理と制御、再開処理の制御、保守者インタフェースの制御を行う。センタ情報管理、センタ課金管理を行う。

蓄積変換呼情報制御(プロトコル変換)

高機能形蓄積変換装置は、機能ユニット間で呼制御情報や画信号を交換する。
画信号を処理しない機能ユニットには、呼制御情報のみが送信される。

蓄積変換メディア変換

コンピュータとファクシミリ間の通信を行うためには、ファクシミリのパターンとコンピュータのキャラクタコードの間のメディア変換が必要である。
このメディア変換は高機能形蓄積変換装置で行われる。

マークシート認識技術

マークシート認識で用いるマークシートには、マーク、ガイドライン付数字、常用手書き文字(英数字、カナ)が使用できる。
このうち、マーク情報はビット0 / 1列、それ以外の情報はコード列に変換された上でコンピュータに転送される。